

2月16日 AM6:30、天候は曇。参加者9名が松本に集合し、車に乗り合わせて出発。AM7:45 坂巻温泉旅館に到着。ここに車を置き、新釜トンネルまで旅館の車で送ってもらう。AM8:45 準備をして釜トンネル入り口を出発、暗闇の中に向かって歩き出す。トンネルを抜けると、白銀の世界が広がる。上空は雪雲が覆い、凍てつく大正池畔からは期待した穂高岳を望む事が出来ない。スノーシューを履き、大正池畔から田代湿原に行く。



大正池畔からの雪を被った焼岳



スノーシューを駆って雪原に行く



田代湿原と微かに望む霞沢岳



田代橋付近から望む霞沢岳、六白山



梓川右岸に行く



PM12:00 河童橋到着「バンザイ」

田代橋からは梓川右岸を歩く。対岸に雪雲の空に霞沢岳、六白山を望む。PM12:00 河童橋に到着。しかし、ここでも上空は厚い雪雲に覆われ、白銀の穂高岳を仰ぐことができない。風を避けて建物の陰で昼食を摂り、河童橋で記念撮影をして、雪に埋まるバス道を、スノーシューの爪を効かせて引き返す。

帝国ホテル前を通過し、PM2:45 釜トンネル出口へ辿り着く。この日、坂巻温泉へ宿泊、暖かい温泉に浸かり、豪勢な食事と岩魚の骨酒に酔いしれる。食後、旅館の談話室で、井上靖の小説「氷壁」の映画を鑑賞。冬の穂高岳、徳沢を舞台にザイル切断事件と恋愛を絡ませた物語だ。映画鑑賞後、PM9:00 過ぎ就寝する。



乗鞍岳を望みながら一ノ瀬園地に行く



あざみ池に♡マークを描く



一ノ瀬園地雪原から望む白銀の乗鞍岳

翌17日、高曇りの天候。AM8:20 坂巻温泉を出発。AM9:15 乗鞍高原いがやスキー場からスノーシューを履き、一ノ瀬園地へ向う。白樺林の起伏のある雪原を登り降りし、氷結した“あざみ池”まで歩く。

そこから溪流の小橋を渡り、一ノ瀬園地の真白な雪原にシュプール(?)を描きながら横断して引返し、PM12:00 いがやスキー場へ帰還する。スキー場下の「そば処」で腹を満たし、PM1:15 車に乗り合わせ松本へ向う。PM2:30 松本県合同庁舎駐車場に到着し最終解散とした。

「輝く白銀の雪原をスノーシューで歩く楽しさと、秘湯の温泉を心ゆくまで味わった登山講習だった。」